

取扱説明書

保管用

日立LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

高天井用LED照明器具

日本国内用

固定出力形 : MTE2803NN(MN)-N14, MTE2203NN(MN)-N14, MTE1403NN(MN, WN)-N14, MTE0903NN(MN, WN)-N14
初期照度補正形 : MTE2803NN(MN)-J14A, MTE2203NN(MN)-J14A, MTE1403NN(MN, WN)-J14A, MTE0903NN(MN, WN)-J14A
連続調光形 : MTE2803NN(MN)-Z14, MTE2203NN(MN)-Z14, MTE1403NN(MN, WN)-Z14, MTE0903NN(MN, WN)-Z14

●電源電圧は100～242Vに対応

●器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。
お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

警告



- 天井取付専用です。壁面などへ取り付けしない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 定格入力電圧 $\pm 6\%$ 以外の電圧で使用しない。火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 防爆形ではありません。引火する可能性がある所で使用しない。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんの所で使用しない。火災の原因となります。



- 取付工事は「3. 取り付けかた」に従い、確実に行う。不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 高所での取付工事は安定した足場を確保し、落下防止対策を行う。落下によるけがの原因となります。

注意



- 一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・油煙等の発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。破損により、けがの原因となります。
- 周囲温度 $-10 \sim 35^{\circ}\text{C}$ 以外の場所では使用しない。火災、不点灯、短寿命の原因となります。（夏季など一時的に 45°C まで上昇する場所で使用することは可能です。）
- 放熱を妨げるような狭い空間で使わない。器具が過熱し、火災の原因となります。
- ガラスカバー面を下にして、床などに直接置かない。ガラスカバーの割れ・キズの原因となります。
- ケーブルを引っ張ったり、押し込んだりしない。故障の原因となります。

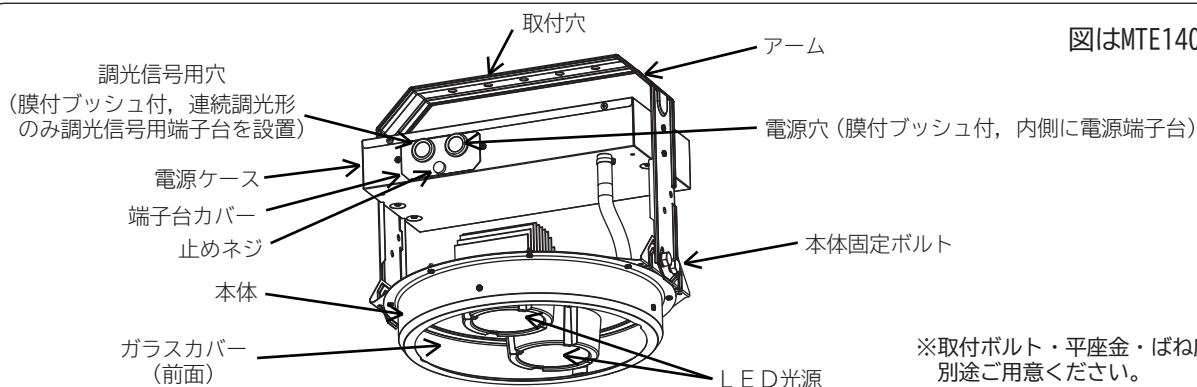


- 器具と被照射物は1 m以上離して使用する。それより近いと、火災、被照射物の変色、変形の原因となります。

ご使用上の注意

- 500 Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。保護機能が作動し、不点灯の原因となります。
- 連続調光形は、当社専用信号方式の制御装置以外と組み合わせて使用しない。不点灯や動作不良の原因となります。

2. 各部の名前



※取付ボルト・平座金・ばね座金・ナットは別途ご用意ください。

3. 取り付けかた

1. 取り付け前に確認する。

- 取付ボルトは器具質量(3. 仕様の表参照)に十分耐える強度のある天井面に設けてください。
- 取付ボルト3本以上を取付穴中心に対して均等に設けてください。
- 取付ボルトの寸法は取付ボルト施工寸法(図1)を参照してください。

表1 器具質量 (例)

形式	質量
MTE0903WN-J14A	6.1 kg
MTE1403WN-J14A	6.1 kg
MTE2203NN-J14A	6.5 kg
MTE2803NN-J14A	8.7 kg

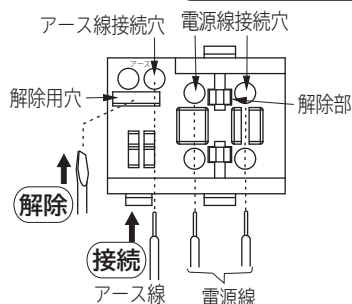
2. 器具を取り付ける。

- 安全上、二人以上で作業を行ってください。
- 取付ボルトに取付穴を通し、平座金・ばね座金・ナットを用いて緩みのないように確実に固定してください(図2)。ナットはダブルナットで締め付けてください。(推奨締付トルク25 N・m)
- 傾斜天井に取り付ける場合、傾斜角度30°以内の天井に取り付けてください。本体が必ず水平になるように調整し、本体固定ボルトで確実に固定してください(推奨締付トルク15 N・m)(図3)。

3. 電源線・アース線を電源端子台に接続する。

- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、膜付ブッシュより電源線・アース線を引き込み、接続穴に確実に差し込む(図4)電源穴のある端子台カバーは、止めネジをはずすことで脱着できます。電源線・アース線接続後は端子台カバーを取り付け、止めネジを確実に固定してください。
- 万一の漏水時に器具外配線を伝って電源ケースや本体へ水が浸入しないように、器具外配線は電源ケースの下まで一度下がるように配置してください(図5)。
- 電源線を解除する場合は、径または幅6 mm以下のドライバーで解除部を押し電源線をはずす。
- アース線を解除する場合は、幅6 mm以下のマイナスドライバーを解除用穴に挿入してアース線をはずす。
- アース工事は、D種(第3種)接地工事を確実に行ってください。

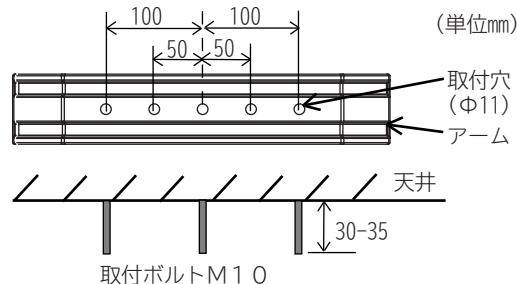
図4 電源端子台の接続と解除



電流容量
20 A

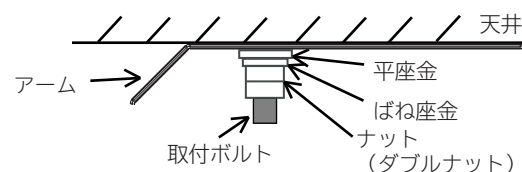
適合電線
φ1.6 φ2.0 の単線
電源線ストリップ長さ
12 mm

図1 取付ボルト施工寸法



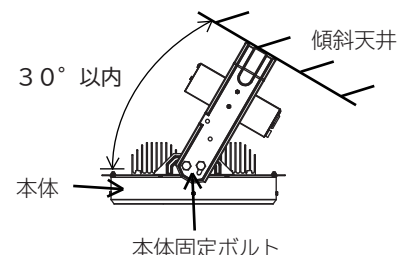
⚠ 注意 取付ボルトは3本以上

図2 器具取付



⚠ 注意 推奨締付トルク25 N・m

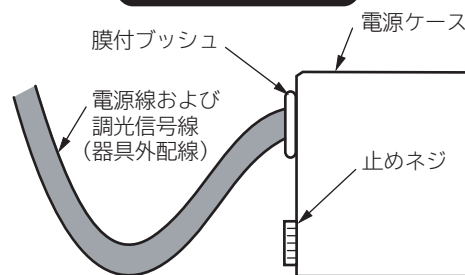
図3 傾斜天井に取り付ける場合



⚠ 注意 本体を水平に

⚠ 注意 推奨締付トルク
15 N・m

図5 配線の配置



⚠ 注意 電源ケース下まで電源線が下がるように配置する。

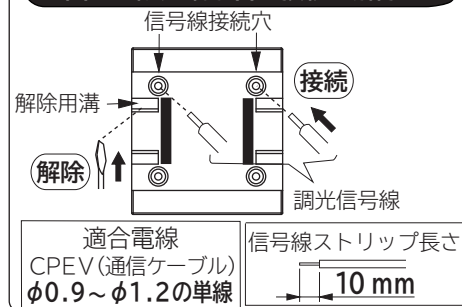
4. 調光信号線を調光信号用端子台に接続する（※連続調光形のみ）。

- 制御装置への接続可能台数を確認する。制御装置には接続可能な点灯装置の台数に制限があります。詳細は制御装置の仕様書を確認してください。
- 各器具の電源装置内蔵台数は、P4「3.仕様」の表に記載しております。
- 調光信号用穴の膜付ブッシュより調光信号線を引き込み、器具の調光端子台に調光信号線を確実に差し込む(図6)。
調光信号用穴のある端子台カバーは、止めネジをはずすことで脱着できます。線接続後は端子台カバーを取り付け、止めネジを確実に固定してください。万一の漏水時に器具外配線を伝って電源ケースや本体へ水が浸入しないように、器具外配線は電源ケースの下まで一度下がるように配置してください(図5)。

5. 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認してください。

6. 正常に点灯するか確認してください。

図6 調光端子台の接続と解除



お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告



- 器具を改造しない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。火災の原因となります。



- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因となります。

⚠ 注意



- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- LED光源を直視しない。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ガラスカバーを破損したままで使用しない。性能を保てないことやガラスカバーの落下によるけがの原因となります。



- 明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がある場合は交換する。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので、点検・交換する。（使用条件は周囲温度30℃です。）

ご使用上の注意

- 電波の弱い場所（山間・鉄筋建物等）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一器具内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じることがあります。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては明るさのムラが発生することがあります。
- 器具一体型のため、LED光源は交換できません。交換の際は器具ごと交換してください。

2. 初期照度補正機能について（※初期照度補正形のみ対応）

- 初期照度補正機能：新しいLED光源は初期に設計照度以上の明るさが出ています。設計照度を考慮して明るさを自動で調光する機能です。

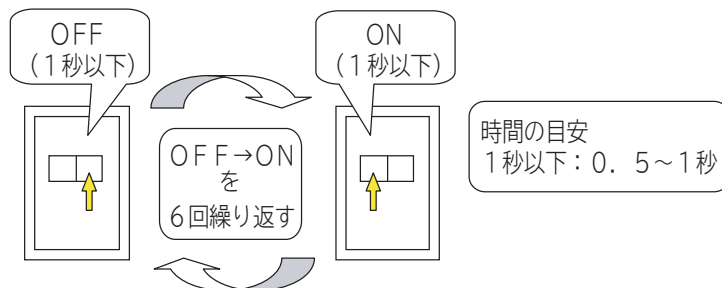
初期照度補正機能を解除して使用する場合の操作

照度補正機能を使用せず、定格出力で点灯させたい場合は、次の操作をしてください。
同一スイッチ回路に接続されたすべての器具の照度補正機能が解除されます。

- 電源ONの状態から、1秒を目安に“OFF→ON”の操作を6回繰り返す。
6回目の電源ON状態で約3秒後に照度補正機能が解除されます。

※解除操作後、明るさが変化しない場合は
照度補正機能の解除が正しく行われていません。
再度、解除操作を行ってください。

- 照度補正機能を解除した後に、上記の操作を行うと
再度、照度補正機能に戻ります。
この操作をすると、照度補正機能の累積点灯時間
タイマーがリセットされますのでご注意ください。



ご使用上の注意

- 照度補正機能解除操作を行ったときに、万一、同一スイッチ回路に接続された器具の照度補正と定格出力の状態が混在した場合は次の操作をしてください。すべての器具が累積点灯時間タイマーがリセットされ、照度補正機能動作状態になります。

〔電源ONの状態から、電源OFF（1秒以下）→電源ON（1秒以下）を16回繰り返す〕

- 器具の汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。

3. 仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

形式	種別	定格入力電圧 [V]	定格消費電力 [W]	平均消費電力 [W]	入力電流 [A]	製品質量 [Kg]	電源内蔵数 [台]
MTE2803NN(MN)-N14	固定出力形	100 - 242	244 - 234	—	2.48-1.01	NN 8.7 MN 8.4	4
MTE2803NN(MN)-J14A	初期照度補正形			215 - 207			
MTE2803NN(MN)-Z14	連続調光形			—			
MTE2203NN(MN)-N14	固定出力形		190 - 183	—	1.93-0.79	NN 6.5 MN 6.3	3
MTE2203NN(MN)-J14A	初期照度補正形			168.5-162.5			
MTE2203NN(MN)-Z14	連続調光形			—			
MTE1403NN(MN, WN)-N14	固定出力形		121 - 117	—	1.23-0.51	NN 5.5 MN 5.3 WN 6.1	2
MTE1403NN(MN, WN)-J14A	初期照度補正形			107 - 104			
MTE1403NN(MN, WN)-Z14	連続調光形			—			
MTE0903NN(MN, WN)-N14	固定出力形		78	—	0.81-0.35	NN 5.5 MN 5.3 WN 6.1	2
MTE0903NN(MN, WN)-J14A	初期照度補正形			69.5			
MTE0903NN(MN, WN)-Z14	連続調光形			—			

注意：平均消費電力とは照度補正による初期から寿命までの消費電力の平均値です。

4. お手入れ



- みがき粉・アルカリ性薬品・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんなどでふいたり、殺虫剤をかけない。
割れ・キズ・変色・落下によるけがの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっていますので、手を触れない。ヤケドの原因となります。



- お手入れは必ず電源を切ってから行う。感電・ヤケドの原因となります。
- 清掃する際は水で浸したやわらかい布をよく絞り、汚れをふき取った後、乾いた布で拭く。

5. 保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111